

■ 第2回 本郷新記念札幌彫刻賞

札幌に生まれ、戦後日本で活躍した彫刻家の本郷新（1905-1980）は、彫刻の公共性・社会性を重視し、全国に数多くのモニュメントを残しました。本郷新記念札幌彫刻美術館は、本郷の功績を記念し、1983年以来隔年で15回に渡り、全国の優れたパブリックアートに「本郷新賞」を贈っています。

2013年、30年の節目を機に、本賞は「本郷新記念札幌彫刻賞」と名称を改め、若手作家の育成を願った本郷の遺志を受け、50歳未満の若い彫刻家を対象とする賞にリニューアルしました。

受賞作は、1日約7万人が往来する札幌市中心部の新たな公共空間「大通交流拠点地下広場」に約3年間設置されます。また、本郷新記念札幌彫刻美術館において、受賞作家の個展を開催します。

主催／札幌市、本郷新記念札幌彫刻美術館（札幌市芸術文化財団）

■ 第2回本郷新記念札幌彫刻賞 最終選考結果

選考委員6名による最終選考の結果、候補作品7点の中から、

加藤 宏子（札幌市在住／48歳）

《improvisation ～うけとめるかたち》

に決定いたしました。

受賞作品は、大通交流拠点地下広場（市営地下鉄大通駅コンコース）に、来年2月から3年間展示されます。



一次選考通過作家：

加藤 宏子（札幌市）

《improvisation ～うけとめるかたち》

北川 太郎（姫路市）

《時空ピラミッド》

国松 希根太（札幌市）

《WHITE MOUNTAIN》

佐藤 一明（札幌市）

《灼熱ストーブ「鎮火」》

田村 純也（苫小牧市）

《Cisakitay》

ダム ダン ライ（小樽市）

《はる-張る・墾る・晴る-》

藤沢 レオ（苫小牧市）

《Mind of a scene》

●賞

本郷新記念札幌彫刻賞 100万円

受賞記念展作品制作費 50万円

●選考委員

酒井 忠康（世田谷美術館 館長）

建畠 哲（多摩美術大学 学長）

植松 奎二（彫刻家）

阿部 典英（美術家）

佐藤 友哉（札幌芸術の森美術館 館長）

寺嶋 弘道（本郷新記念札幌彫刻美術館 館長）

●受賞作品設置場所

札幌市中央区大通西4丁目 大通交流拠点地下広場